

第4回東京都北区新庁舎建設基本計画専門家会議 概要

- 日時 令和2年3月30日(月) 10:00~12:20
- 場所 テレビ会議
- 次第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 今後の進め方について
 - (2) 新庁舎建設基本計画の骨子について
 - (3) 検討の条件設定について
 - 3 その他 ・次回会議日程について
 - 4 閉会

●会議概要

1 開会

2 議事

(1) 今後の進め方について

- 事務局から、会議における今後の具体的な検討の進め方について説明があった。

(2) 新庁舎建設基本計画の骨子について

- 事務局から、新庁舎建設基本計画の策定に向けて、重要と位置付ける方向性や計画書の構成について説明があった。
- 委員意見等
 - ・ 災害時において新庁舎が建設予定地で機能し続けるにあたり、どんな機能を絶対継続させるのか、あるいは24時間なり72時間なりで回復させるのかを考えなければならない。地震と水害で、災害対応について書き分けが必要。
 - ・ 庁舎に入れる機能の検討にあたって、周辺における各種施設の配置や利用状況が知りたい。先に分析があってから考えるべきと思われる。
 - ・ コストについてはただ縮減ということにはせず、ライフサイクル全体として考えるべき。今後の設計に向けて要求水準を明確にすることが大事である。

(3) 検討の条件設定について

- 事務局から、新庁舎建設基本計画の策定に向けて、今後の検討にあたり前提とする周辺のまちづくりの状況や配置、ボリュームの想定について説明があった。
- 委員意見等
 - ・ フロアの大きさが適正で居住環境が保たれるかという視点と、エレベーター負荷、つまり縦動線の

視点の二つの考え方がある。階を積み上げ過ぎるのは注意が必要だが、平面が大きすぎると環境は悪くなる。要求水準としてエレベーターのバンクや基準階の概ねの広さを示しつつ、設計の段階で評価するのが良い。

- ・ 王子駅周辺の再開発を前提とするならば、敷地へのアクセス等の周辺街区とのつながりについて、考え方や評価の仕方も広がる。
- ・ 今の段階では、建物の形状ではなく、動線や配置の最適を考えることに着手すべきではないか。最初から、様々な可能性を排することはしない方が良い。

3 その他

(1) 次回会議日程について

- 次回会議日程 令和2年6月（詳細は後日調整）

4 閉会